

令和4年3月24日
令和3年度第3回
障害者地域自立支援協議会
資料4

令和3年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会専門部会活動報告書

相談支援部会

就労支援部会

精神保健福祉部会

令和3年度 相談支援部会 年間活動報告書

令和3年度の主な取組内容

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討
- ◆ 教育分野との更なる連携について検討

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスへの対応の検証と今後の対策を検討 ・教育分野との更なる連携について検討 ・地域体制強化共同支援の実施状況について ・『緊急を緊急にしない』支援体制について 	オンライン開催
第2回	9月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスを含む災害対策に関する取組について ・『緊急を緊急にしない』ための取組について ・教育との連携を図るための具体的な取組について 	オンライン開催
第3回	2月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策研修の振り返り ・『緊急を緊急にしない』ための取組について ・教育との連携を図るための具体的な取組について ・次年度の協議内容について 	オンライン開催
研修会	12月21日(火)	テーマ:「災害時における障害者支援とは」 講師:鍵屋 一 氏(跡見学園女子大学 教授)	cocobunji プラザ リオンホール A・B ホール
相談支援事業所連絡会	4月15日(木) 5月20日(木) 6月18日(金) 7月15日(木) 8月19日(木) 9月16日(木) 10月22日(金) 11月18日(木) 12月16日(木) 1月21日(金) 2月17日(木) 3月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び合同研修の実施 ・計画相談に関わる加算に関する勉強会の実施 ・計画相談に関わる手続きの更なる効率化について ・コロナ禍における相談支援の継続について ・災害時研修について ・『緊急を緊急にしない』ための取組について ・地域体制強化共同支援の取組について ・ライフステージに沿った切れ目のない支援について ・教育分野との更なる連携について 	オンライン開催 (4・5・7・9・2月)
障害児通所支援事業所連絡会	7月13日(火) 1月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現況報告 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・障害児通所支援事業所と保育・教育との連携について 	オンライン開催
研修会	11月26日(金)	・都立武蔵台学園見学及び意見交換会	都立武蔵台学園

成果・活動から見えてきたことなど

新型コロナウイルス感染症は依然として収束の兆しは見せず、第6波とされる2月においては市内の新規感染者数が連日100名を超えている。今年度も相談支援部会は感染拡大防止の観点から全てオンライン開催となり、相談支援事業所連絡会、障害児通所支援事業所連絡会においても、大半がオンラインでの開催を強いられたが、このような状況においても相談支援部会では、当初の目標に沿って取組を継続できている。

まずは、新型コロナウイルス感染症の蔓延のような事態を含めた「災害」への対策であるが、跡見学園女子大学の鍵屋一教授を講師に迎え、「災害時における障害者支援とは」をテーマに、社会福祉施設が備えるべきこと、個別配慮が必要な障害のある方への支援、求められる地域との連携等について、91名（会場：40名、オンライン：51名）の市内福祉関係者が学びを深めることができた。特に令和6年度の事業継続計画（BCP）策定義務化を控える福祉事業者においては、災害や感染症などにあっても、どのように最低限のサービス提供を維持していくのかを、地に足を付けて想定し、計画化と備えを進めることの重要性を改めて感じる機会になったと考える。

教育分野との更なる連携については、障害児通所支援事業所連絡会において協議を継続すると共に、11月26日には都立武蔵台学園の見学・意見交換会を実施した。見学・意見交換会には市内11の事業所より15名が参加。意見交換会では、高等部における就労に向けた取組やクラス編成、ICTの活用状況や支援会議等の連携について等、活発な質疑応答・意見交換ができた。これまでも武蔵台学園と各事業所間で個別ケースに関する連携は実施しているが、今回の見学・意見交換会を通じて双方の「顔の見える関係作り」が更に前進できたものと思われる。今後も引き続き、福祉と教育の相互理解の促進、そして保護者を含めた3者が気軽に相談できる環境の構築に向けて取組を進めたい。

毎月定例で開催をしている相談支援事業所連絡会では、合同ケース検討、児童から者への転換についてのケース検討、ブラッシュアップ研修を実施し、相談支援の質向上とライフステージにおける切れ目のない相談支援体制を目指した取組を継続している。

昨年度より継続して協議している「緊急を緊急にしない」取組については、相談支援部会及び相談支援事業所連絡会において意見交換を行うと共に、調査の一環として市内の障害者団体から緊急時対応におけるニーズの聞き取りを実施している。また、市内の短期入所事業所が地域生活支援拠点へ位置づけられたことは、市内事業者が連携・協力して緊急時の支援に取り組む体制づくりの大きな一歩であると言える。

次年度においては更にニーズの分析や緊急時対応における課題の整理、活用できる地域資源の検討を行い、国分寺市における「セーフティネット」の強化と適切な周知方法等について取組を具体化していく必要がある。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
相談支援部会			
第1回	5月17日(火)	・今年度の取組について	
第2回	9月 日		
第3回	2月 日		
相談支援事業所連絡会	毎月	・各事業所における現状・課題の報告 ・事例検討及び合同研修について ・ライフステージに沿った切れ目のない相談支援体制について	
障害児通所支援事業所連絡会	7月12日(火) 2月頃	・事業所間の連携・情報共有について ・教育との更なる連携について	

令和3年度 就労支援部会 年間活動報告書

令和3年度の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 農福連携の推進について
- ◆ 商業施設での物品販売の実施について
- ◆ 一般企業実習先の開拓について
- ◆ お仕事ネットワークの連携活性化について

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月12日(水)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ② 令和2年度就労支援部会活動報告 ③ 令和3年度の部会開催回数及び取組について協議 ④ ニュースレターについて	オンライン開催
第2回	9月10日(金)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊農福連携に関する協議 ＊お仕事ネットワーク ＊就労移行支援事業所連絡会 ② 令和3年度の取組について	オンライン開催
第3回	2月3日(木)	① 各作業部会の取組状況報告 ＊価格表作成ワーキンググループ ＊お仕事ネットワーク ＊農福連携に関する協議 ＊就労移行支援事業所連絡会 ② 令和4年度の取組について	オンライン開催
農福連携に関する協議		生産農家側からの提案に対し、就労支援事業所側が対応できない現状のため、今年度は協議の場を設けるに至らなかった。	
国分寺障害者施設お仕事ネットワーク	定例会毎月1回 原則第2木曜日 12月3日(金) ～5日(日) 1月28日(金) ～30日(日) 3月11日(金) ～13日(日)	＊共同受注進捗状況等の報告(毎月) ＊国分寺駅での販売会に関すること 2021 冬の Sweets & Hand Made Fair (国分寺市障害者週間行事の一環として) 2022 冬の Sweets & Hand Made Fair 春の Sweets & Hand Made Fair	ホランティア活動センターこくぶんじ (オンライン併用開催) セレオ国分寺 国分寺マルイ 国分寺マルイ

価格表作成 ワーキンググループ	11月11日(木) 12月9日(木) 1月13日(木) 2月17日(木)	*屋外作業の仕分け・分類及び請負価格・単価等の調整 *屋内作業の仕分け・分類及び請負価格・単価等の調整	同上 お仕事ネット定例会と同日開催
就労移行支援 事業所連絡会	6月2日(水) 9月13日(月) 2月16日(水)	*庁内実習について *就労アセスメントについて *近隣市域での実習先の開拓について *次年度の取組について	国分寺市障害者 就労支援センター

成果・活動から見えてきたことなど

農福連携に関しては、就労支援事業所とJAが共同で乾燥野菜商品の販売や学校給食・飲食店への卸し売りなどの可能性を検討したものの、生産コスト等の採算が合わず、断念せざるを得ない状況に陥っている。市内就労支援事業所の設備環境や人員体制等を考慮すると生産加工に関する連携よりも除草作業等の役務提供による連携の方が実現可能性は高いと考えられる。今年度は農福連携に関する協議を行う機会がなかったが、次年度は価格表を踏まえて役務提供による連携について意見交換を行うなど協議を再開したいと考えている。

お仕事ネットワークの連携活性化に関しては、今年度も国分寺駅での販売会に継続的に取り組むことができた。8月に企画した販売会に関しては、コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となったものの、12月・1月にセシオ国分寺及び国分寺マルイの協力を得て、『冬のSweets&Hand Made Fair』を開催したことで、市と地域活性化連携包括協定を結んでいる駅ビル商業施設3社と関係性を築くことができた。販売会が地域の方々にとどの程度定着してきているのか測りづらいところはあるが、マンネリにならないような工夫をしながら、引き続き取り組みたいと考えている。

懸案となっていた受注拡充のための価格表作成についても11月～2月に開催した価格表作成ワーキンググループにおいて必要な検討を行うことができた。今後は検討した内容を価格表として体裁を整えるとともに、如何に情報発信し、成果を上げるかが課題と考えている。

就労移行支援事業所連絡会の取組に関しては、今年度も地域活性化包括連携協定を結ぶ企業や団体を中心に実習先の新規開拓を行った。実習の受け入れに理解を示していただけの企業や団体が少しずつ増える傾向にある中で、今後は、実習を希望される人員数と提供可能な実習機会の量についてバランスが取れているのか否かを検証し、今後の実習開拓の方向性を見極める必要もあると考えている。

今後の活動予定

就労支援部会 第1回 第2回 第3回	5月20日(木) 未定	・今年度の取組について	
-----------------------------	----------------	-------------	--

その他

就労支援部会における作業部会

- ① 農福連携に関する協議
- ② 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク
- ③ 就労移行支援事業所連絡会

令和3年度 精神保健福祉部会 年間活動報告書

今年度部会の主な取組

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議・検討を行った。
- ① 精神科病院に長期に入院中の国分寺市民への退院支援に焦点を当て、「地域移行支援ワーキング・グループ」の活動を軸に推し進めた。具体的には国分寺市民が多く利用している近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねると共に、個別の退院支援に関する協議・検討を実施した。
- ② 精神障害者における「地域生活支援拠点等」の機能の活用法を協議・検討した。
- ③ 普及啓発に関して、ターゲットを絞り、発信に向けての協議・検討を実施した。
- ④ 「退院請求等弁護士制度」の活動を知り、弁護士との協働・連携の必要性を確認する機会を得た。
- ⑤ コロナ禍における支援の在り方や支援課題について、災害時の対策との関連も視野に入れつつ、検討・協議した。
- ⑥ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ、支援に対する要望などのヒアリングを行い、今後の支援課題の抽出や、施策への反映のイメージ作りに努めた。

活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容	備考
ワーキング・グループ	4月22日(木)	近隣精神科病院訪問についての打合せ 相談室 PSW にインタビュー内容の検討	オンライン開催
ワーキング・グループ	5月18日(火)	近隣市の精神科病院訪問実施 相談室の PSW (急性期病棟・療養病棟) へのインタビューと懇談・協議、今年度の部会の取組について	PSW2名
第1回	5月21日(金)	①今年度の部会の取組について 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議検討を重ねる。⇒継続的取組 ②居住支援について ⇒ハード面(居所の確保)とソフト面(生活支援)の拡充 ③前年度当事者ヒアリングの振り返りと今年度のヒアリングの取組について ④精神障害に関する普及啓発活動について(広報等) ⑤地域移行支援ワーキング・グループの活動報告と今後の取組について ⇒精神科病院へのアプローチ	オンライン併用開催
スキルアップ 研修Ⅰ (地域移行)	6月21日(月) ～ 6月28日(月) YouTube オンデマンド配信	①東京都における地域移行支援取組状況 (東京都多摩総合精神保健福祉センター地域体制整備担当) ②東京都精神障害者地域移行体制整備事業の報告 (はらからの家コーディネーターからの報告) ③国分寺市障害者地域自立支援協議会精神保健福祉部会の報告(精神保健福祉部会長からの報告～地域移行ワーキング・グループの活動を軸に～)	申込125名 再生回数 173回
ワーキング・グループ	7月9日(金)	スキルアップ研修の振り返り、今後のワーキング・グループとしての退院支援の流れの確認、個別ケースの取組について	
ワーキング・グループ	8月3日(火)	退院に向けての支援が必要な方の事例検討	
第2回	9月3日(金)	①地域移行支援ワーキング・グループの活動報告ならびに今後の活動について ⇒取組報告と各委員からの意見 ②精神保健の普及啓発について ⇒教育現場等への発信 ③当事者ヒアリングの実施に向けて ⇒設問項目の検討等 ④地域生活支援拠点の検討⇒緊急時対応の中身について	オンライン併用開催
ワーキング・グループ	10月4日(月)	近隣市精神科病院訪問打合せ 病棟看護師へのインタビュー内容の検討	
第3回	11月19日(金)	①退院請求等弁護士制度について ⇒リーガルモデルの実践状況把握と連携	

第3回	11月19日(金)	②精神科医療連携事業について(北多摩西圏域) ⇒精神科と他科診療の連携をどう進めるか。 ③精神障害の普及啓発について ⇒養護教諭を対象に情報発信を実施する方向 ④地域生活支援拠点について ⇒緊急時対応における配慮や視点について ⑤地域移行支援ワーキング・グループの活動報告ならびに今後の活動について ⇒次回訪問(看護部)の質問内容検討	
ワーキング・グループ	11月29日(月)	近隣市精神科病院訪問打合せ、病棟看護師へのインタビュー内容の検討、個別退院支援に関する協議	
ワーキング・グループ	12月6日(月)	近隣市の精神科病院訪問実施 入院療養病棟看護師へのインタビューと懇談・協議	看護師2名
ワーキング・グループ	1月6日(木)	前回の近隣市の精神科病院訪問の振り返り 第4回精神保健福祉部会打ち合わせ 個別退院支援に関する協議	
第4回	2月4日(金)	①地域移行支援ワーキング・グループの活動報告ならびに今後の活動について⇒次回病院訪問はOTを対象に実施 ②当事者ヒアリング(2名)⇒生活状況把握・要望の聞き取り ③次年度の活動について ⇒従来課題の継続とワーキング・グループの定期活動化等	オンライン併用開催
ワーキング・グループ	2月28日(月)	近隣市の精神科病院訪問実施 作業療法部へのインタビューと懇談・協議	
ワーキング・グループ	3月3日(木)	近隣市の精神科病院訪問の振り返り 今後の活動内容の検討	
ワーキング・グループ	3月29日(火)	根岸病院訪問	

成果・活動から見てきたことなど(課題整理)

<ul style="list-style-type: none"> ◆長期入院中の国分寺市民の方々の実態の把握と地域移行支援を進めていくために、部会構成員によるワーキング・グループを編成した。コロナ禍という状況を踏まえながら、市民の利用が多い病院訪問を実施し、医療の各セクションとの協議を重ねることで、つながりを強めた。実質的な地域移行を推進していくことを確認するとともに、その手立てについて協議を行った。 ◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」において重要な支援要素となる地域生活支援拠点の機能の充実に向けて、とりわけ「緊急時における対応」に関して、支援の在り方を深める必要を共有し、引き続き協議を重ね、拠点機能への反映を目指す。 ◆普及啓発については、ターゲットを絞った実践を試みることで、初期対応(プライマリーケア)に重点を置きながら、中高養護教諭の定期会合等への部会構成員の派遣により、精神保健福祉情報の発信とともに連携のアピールを実施することを確認した。 ◆精神障害者の処遇は、入院中の処遇改善や、退院請求、さらには地域生活にまつわる権利侵害への対処等々の問題を抱えている。今年度、精神保健福祉部会に弁護士を招聘し、「精神医療当番弁護士制度」を学びつつ、当部会のソーシャルサポートとの協働の方向を確認した。 ◆精神障害当事者から生活の実情、課題とニーズを直接ヒアリングした。聞きとった話の中から支援施策への反映を意識しながら今後の部会の進むべき方向性を確認した。また、当事者の方からのヒアリングは今後も継続していくことを確認した。
--

今後の活動予定

<ul style="list-style-type: none"> ◆当事者ヒアリングは継続的に実施し、幅広くニーズや課題を把握していきながら地域生活支援拠点や「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築につなげていく。 ◆地域移行支援ワーキング・グループの自立支援協議会精神保健福祉部会における位置づけのより一層の明確化と定期開催を図るとともに、病院との関係づくりと個別支援の両輪で地域移行支援に必要な体制整備を進めていく。

次年度の活動スケジュール

第1回	令和4年	5月27日(金)	午後	市役所書庫棟会議室
第2回	令和4年	8月26日(金)	午後	市役所プレハブ第一会議室
第3回	令和4年	11月18日(金)	午後	cocobunji プラザリオンホール A ホール
第4回	令和5年	2月3日(金)	午後	cocobunji プラザリオンホール A ホール